

# 十一月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二  
 浄土真宗 本願寺派 西福寺  
 TEL 072-633-3755 FAX 072-633-3755

月かげ明るく、喜びも悲しみも隔てなく、静かに照らし、包んでいきます。

皆様には如何お過ごしでしょうか。  
 平成二十八年十一月のご案内を申し上げます。

◎人生講座はお休みです。各寺院の報恩講にお参り下さい。

- 称名寺(総持寺) 10月22日 14時 / 23日 10時
  - 安楽寺(太田) 10月29日 13時半 / 30日 13時半
  - 本照寺(富田) 11月1日 14時 / 2日 14時
  - 光明寺(総持寺) 11月9日 14時・19時
  - 万徳寺(氷室) 11月12日 14時・19時 / 13日 13時半
  - 常見寺(五百住) 11月12日 10時・13時半
  - 常称寺(総持寺) 11月25日 14時 / 26日 14時
  - 称念寺(高田) 11月26日 13時半 / 27日 13時半
  - 顕証寺(八尾) 11月26日 / 27日 / 28日
- \*万徳寺様では12日夜、御伝鈔(宗祖生涯の行蹟が記述された詞書)が拝読されます。

## ●お仏壇のお洗濯

ご自宅の建て替えを機に、お仏壇のお洗濯をされてはいかがですか？  
 お仏壇の浜屋では、ご予算・ご希望に合わせて匠が真心を込めて仕上げます。見積もりは無料です。ご自宅が建て替わるまでの期間、お仏壇を預かっていただけます。お洗濯に出される前後には、遷座法要・入仏法要を行います。ご先祖方をお仏壇に託した思いをきちんと次代に伝えていきたいものです。

新調される場合、ご本尊(掛軸)は本願寺からお迎えください。

\*詳細は住職までお尋ね下さい。TEL 072-622-3725

二〇二六(平成二十八)年度 本願寺津村別院  
 親鸞聖人

## 報恩講

法要期間  
 11月11日[金]～  
 11月16日[水]日中  
 前門様御導師  
 15日速夜・16日日中  
 ■13:30～ ■10:00～

先般、当山報恩講では多数ご参拝いただき誠に有難うございました。堂内では、毎座お同行の皆さまの唱える正信偈の声に満ち、ご講師の加藤先生からは、力強くも温かいご法話をお聞かせいただき、法味あふれる2日間となりました。

大阪本町、本願寺津村別院でも11月11日より報恩講が勤められます。日中法要は朝10時から、速夜法要は昼1時半からです。15日速夜、16日日中は、前門様御導師による法要となります。

なお、13日速夜までは稲田静真師(大分)、14日からは林智康勧学(福岡)による報恩講布教が行われます。

御堂筋の銀杏色づくこの季節、有縁の皆さま、どうぞご参拝ください。



伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日

例えばこんな場合…

- 1 金具が壊れ、戸や障子の開閉がしづらい
- 2 漆塗りの部分が割れてたり、はがれてツヤがない
- 3 彫刻が欠けていたり、害虫による被害を受けている
- 4 金箱が汚れたり、はがれて黒い部分が見えている
- 5 障子の格子が折れて紗(シャ)などが破れている



いしかわきんや 石川欣也先生の  
 法話のダイヤル 0743-53-4488

## 正信偈のススメ ⑬

◆本師曇鸞梁天子 常向鸞処菩薩礼  
 三蔵流支授浄教 梵焼仙経帰楽邦

【意訳】曇鸞大師 徳たかく 梁の天子に あがめらる  
 三蔵流支に みちびかれ 仙経すてて 弥陀に帰す

曇鸞大師は、はじめ四論宗に属していた。四論とは、三論に『大智度論』を加えたものである。三論とは『中論』『百論』『十二門論』の三つを指す。曇鸞大師はこの四論に精通していた。梁国の皇帝蕭王は、曇鸞菩薩と尊称し敬服していた。

◆天親菩薩論註解 報土因果顕誓願

往還廻向由他力 正定之因唯信心

【意訳】天親の論釈しては浄土にうまるる 因果も往くも還るも 他力ぞとただ信心をすすめけり

曇鸞大師は、天親菩薩の『浄土論』を『論註』として註釈され、極楽浄土の因果、阿弥陀仏の誓願の一つ一つを詳細に顕された。

往相・還相の二種の回向は、凡夫の側より起こせるものではなく、ことごとく阿弥陀仏の他力によって起こさしめられるものである。

凡夫が往生成仏できるのは、信心がより起こることによる。

